プログラミング学習の実践 ーVisual Basic.Netを利用してー

千葉県立船橋豊富高等学校 谷川 佳隆

発表内容

- 1. 勤務校紹介
- 2. プログラミングを教える狙い
- 3. 授業展開方法
- 4. プログラミングを教えていていると
- 5. 生徒がつまづく例
- 6. 授業での主な制作物紹介
- 7. プログラミングを教える善さ

勤務校紹介

- 千葉県立船橋豊富高等学校
 - 普通科の1学年5クラスの全日制高等学校
- 平成4年度から情報コースを立ち上げ、 教科「情報」の始まる10年以上前から コンピュータ教室での授業を展開している。





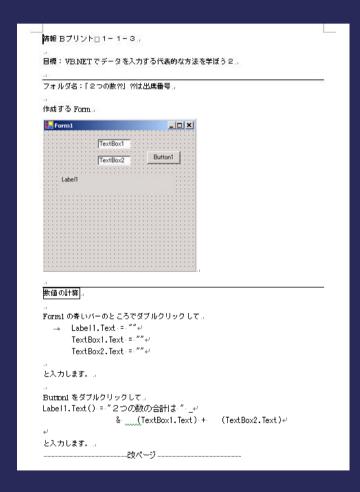
プログラミングを教える狙い

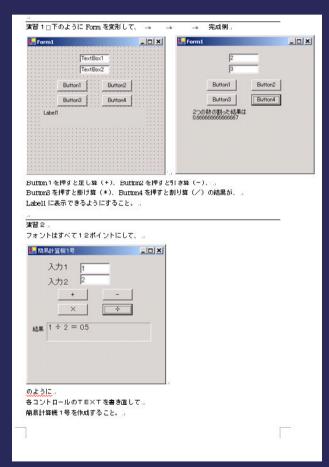
- 私が勤務する前からVB.6を教えていたので、 それを引き継いでいる。
- 教える内容については自分なりに考え直し、 プログラミングになれることを, 目標にしている。
- 自分で作品を作り上げる達成感を 多く感じてもらうために、 簡単なプログラムをたくさん作り完成させる。

授業展開方法

- まず完成例を見せる M1 M2 M3
- 穴埋めプリントを配る
- 一緒にプログラムを作成させる
- つまづいている生徒のフォローをする
- 作品を提出させる
- ○放課後に作品を見直す。

授業プリントの例





プログラミングを教えていていると

- o ほとんどの生徒がプログラミングソフトに初 めて触れる。
- コードを半角で打つことを理解することから 始まる
- ○コードを正確に打つことから始まる
- 生徒の根気のよさがわかる
- 放課後も熱心にプログラムの作成をする生 徒が出てくる

生徒がつまづく例1

- ○コードを正確に打てない
 - 大文字で文字入力をしてしまう (特に記号":;+-*/)
 - 正しいスペルを理解していない

```
Label1.Text() = "2つの数の合計は" _
& Val(TextBox1.Text) + Val(TextBox2.Text)
```

```
Label1.Text() = "2つの数の合計は"_
& Val(TextBox1.Text) + Val(TextBox2.Text)
```

生徒がつまづく例2

- 手順(宣言など)を忘れる
- 入れ子が理解できない
 - If文の終わりがわからない

```
Dim g As Graphics = CreateGraphics()
```

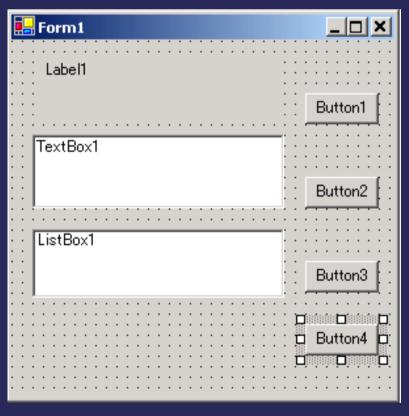
g.FillEllipse(<u>BluBrush</u>, 20, 50, CInt(Val(TextBox1.Text)), _ CInt(Val(TextBox1.Text)))

```
If RadioButton1.Checked Then
Label3.Text = a & "+" & b & "=" & a + b
```

If RadioButton2.Checked Then
Label3.Text = a & "-" & b & "=" & a - b

授業での主な制作物1

○表示する場所



第1回 全国高等学校情報教育大会 発表資料 武蔵工業大学

授業での主な制作物2

○潜水艦の移動





授業での主な制作物3

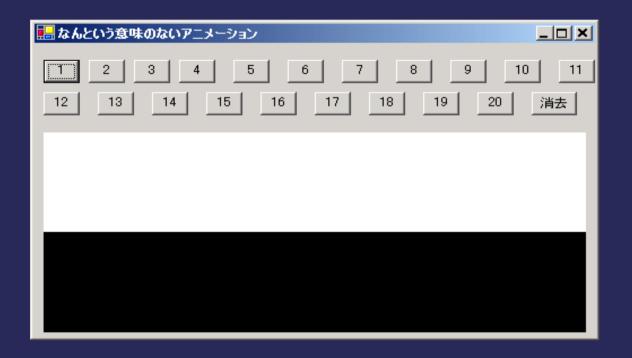
○光の三原色



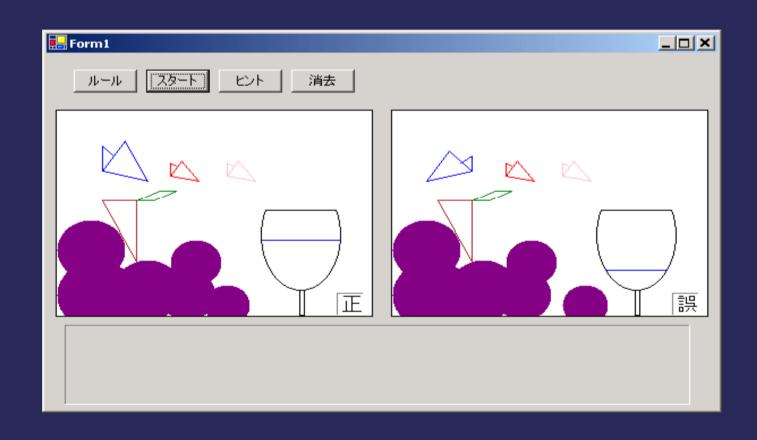
生徒自由作品例1



生徒自由作品例2



生徒自由作品例3



プログラミングを教える善さ

- 正しくコードを書かないとプログラムは 動かないことがわかる
- 自分で作ったプログラムが動くことの喜びを 実感できる
- デバックの大切さがわかる

参考までに

- ICT-Education No.38に 今回の発表のもとがあります。
- ○「IC3からヒントを得た新しい情報科授業の作り方」 http://www.helpfulnotes.info/kishatan080 106_01.html
- 第6回 IT-EIフォーラム リポート
 http://www.itei.net/forum/itei2007/itei2007_summary1
 .html